



栄えある受章 おめでとうございます

瑞宝双光章 消防功勞

押田 幸隆 さん(70)
松尾町
元 鳥羽市消防団団長



昭和 55 年に鳥羽市消防団に入団し、長年にわたり消防団員として精神的・肉体的に労苦の多い環境において、業務に精励しました。また平成 8 年からは副団長として団本部に所属、平成 31 年からは団長として後進の育成教養訓練や消防機械の整備充実を図るなど消防力の強化・充実に尽力されました。

受章の声

このたび叙勲受章という栄誉を賜り、大変光栄に存じます。45 年にわたる消防団活動を続けてこられたのは、地域のみなさまのご理解とご協力、そして家族や団員仲間の支えがあったからこそです。受章は個人の功績ではなく、共に地域防災に尽力してきたみなさま全員へのものと感じています。今後も地域の安全・安心のため、微力ながら貢献してまいります。



かもつマッヅ作り

6 月 10 日、加茂小学校の児童 11 人が参加し、地域の安全を守るための防災マップ作りが行われました。

児童たちは、これまでに調査して撮影した危険な場所や、AED の設置場所、避難所などの写真をグループで共有し合い、白地図にわかりやすくまとめ上げました。

参加した児童は「しっかり確認すると、危ないところがいっぱいあった」と学んだことを話してくれました。

Toba city

まちの話題



6 月 10 日、11 日の 2 日間、鳥羽中央公園を会場に「第 38 回東海四県グラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。東海 4 県から約 320 人のグラウンド・ゴルフ愛好者が集まり、プレーを通じて賑やかに親睦を深めました。

市グラウンド・ゴルフ協会からも 20 人が出場し、「ナイスショット！」の声とともに会場を盛り上げました。また、相差町の上村光雄さん(74 歳)が見事 4 位に入賞されました。

グラウンド・ゴルフ大会が鳥羽市で開催



5 月 29 日、安楽島小学校の 5 年生 35 人、6 年生 30 人が、ケアシェルについて学ぶ学習会とあさり掘り体験を行いました。

児童たちは、海とかかわる仕事への理解を深めるとともに、海に対する思いや興味を持って取り組む人たちの話に耳を傾けました。また、鳥羽の海の恵みであるあさり掘りを体験しながら、ケアシェルとの関わりについて学びました。

体験を通して、児童たちは海的环境や資源の大切さについて考えを広げていました。

あさり掘りに挑戦しました